

2008 年度

科目名	対象学科・学年 人間人社1回生	担当者
心理学研究法		中尾 将大
授業テーマ 精神活動を科学的に研究する方法を学ぶ		
授業の概要と目標 人間の精神活動は直接見ることはできません。その中で心理学が発展させてきた研究法を概観します。それらの研究法の中でも特に「実験的研究」を中心にすえ、心理学的実験法が他領域と結びつき、どのように効力を発揮し、発展していったのか紹介する。実験的研究法からわかる精神活動の世界に興味を持っていただければと思う。		
評価方法 出席、小テスト、学期末テストによって総合的に評価します。		
テキスト 授業内容に合わせてプリントを配布します。	著者	出版社
参考書 学習の心理－行動のメカニズムを探る－ 他領域で学ぶ人のための行動科学入門	著者 実森正子・中島定彦 磯博行	出版社 サイエンス社 二瓶社
授業スケジュール・内容		
1. オリエンテーション －授業の説明－		
2. 心理学研究法の基礎 －概論－		
3. なぜ実験なのか？（1） －科学たり得るために－		
4. なぜ実験なのか？（2） －純粹の科学になるためには－		
5. 心理統計の基礎 －統計の基本的な考え方－		
6. 行動からわかること －新行動主義の研究者たち－		
7. 行動実験（1） －条件反射 梅干と酸っぱさ－		
8. 行動実験（2） －道具的条件づけ 働かざるもの食うべからず－		
9. 行動実験（3） －うつ病の基礎モデル 何をしてもアカン－		
10. 行動実験（4） －準備性の考え マンジュウ怖いのは成り立つのか？－		
11. 行動実験と多領域との連携 －実験心理学の可能性－		
12. ヒトの行動変容（1） －病は気から？ 気を変えなくても病気は治る？－		
13. ヒトの行動変容（2） －しつけと訓練 行動教育法 落ちこぼれは本当に落ちこぼれなのか？－		
14. 行動と人間の幸福 －幸福感の向上には何をすべきか－		
15. まとめと試験		